

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	地理歴史科	科目	地理総合		単位
対象コース	一貫、進学、総合、美術	コース	対象クラス	1 年	1～9組
使用教科書	新地理総合（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）				
使用副教材	新地理総合ノート				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

## 学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域のように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。

- (1) 地図、地理情報、地域調査の学習を通して、地図の活用法、地域や世界の諸事象を理解する力や課題の発見力を身に付け
- (2) 地形や気候の学習を通して、自然と人間の関わりを理解し、各地域の人間生活の基盤を形成しているものへの理解を深め
- (3) 日本の自然や環境問題の学習を通して、自然災害を理解するとともに防災意識を高め、環境問題に対する関心を高めて下
- (4) 世界や日本の農林水産業の学習を通して、自然と農林水産業の関わりを理解するだけでなく、食糧問題にも関心を深め

## 学習内容：この科目で学習する大まかな内容

- (1) 地理情報の活用法、世界観の変化、地球上の位置、時差、世界図の図法・種類、一般図と主題図、地域調査について学
- (2) 地形の種類・成因・分布、陸水と海洋、大気大循環、雨温図とハイサーグラフ、世界の気候区分・植生・土壌について学
- (3) 日本の地形・気候、自然災害と防災、オゾン層の破壊・地球温暖化・森林破壊・砂漠化・酸性雨等の環境問題について学
- (4) 世界の農業地域区分、自給的農業・商業的農業・企業的農業の種類、世界の林業・水産業、日本の農林水産業について学

## 学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

### (1) 学校

- (1) 地理情報の活用法、世界観の変化、地球上の位置、時差、世界図の図法・種類、一般図と主題図、地域調査について学
  - (2) 地形の種類・成因・分布、陸水と海洋、大気大循環、雨温図とハイサーグラフ、世界の気候区分・植生・土壌について学
  - (3) 日本の地形・気候、自然災害と防災、オゾン層の破壊・地球温暖化・森林破壊・砂漠化・酸性雨等の環境問題について学
  - (4) 世界の農業地域区分、自給的農業・商業的農業・企業的農業の種類、世界の林業・水産業、日本の農林水産業について学
- えを深めるようにしましょう。

### (2) 家庭

- ① 復習は必要です。授業で理解できなかった用語や内容はその日のうちに教科書などで確認しておきましょう。
- ② 新聞やテレビのニュースを必ず見ましょう。問題を解く際に力強い味方になります。常識で解ける問題もあります。
- ③ 模試の見直しの際、模範解答の解説書を熟読し、「正解の根拠・地図や統計読解のテクニック」を理解し覚えましょう。

# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

## 評価方法：何を使って評価するのか

- (1) 定期考査→年5回の定期考査は、授業の学習内容から出題します。
- (2) 夏休み・冬休みの課題→予習・復習用の課題です。休み明けに、課題内容の確認テストを行います。
- (3) 授業に参加する事を第一に考え、発問により多くの思考を

評価における定期考査の割合

70 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

## 評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

### (1) 関心・意欲・態度

授業における発言、課題や作業への取り組みが積極的であり、地理への関心を深め授業内容を進んで理解しようとしているのかに、課題や作業の提出状況と内容を見ます。また、協働学習に対する取り組む姿勢を見ます。

### (2) 思考・判断

授業の各分野において、単に用語を暗記するだけではなく、地図や統計資料を用いての発展的な課題に対し、解答を見つけるこ

す。また、協働学習において、意見交換を通して自分の意見を進化させているかを見ます。

(3) 技能・表現

新聞やテレビで得た情報を、地理の学習内容に結びつけることができるか。また、授業の内容理解にどのような資料を用い、どのような技能を見ます。また、協働学習における意見の伝え方（表現力）も見ます。

(4) 知識・理解

授業で学んだ自然環境・産業・資源について、基本的な用語や説明内容を正しく理解し、「ある地域の特色や地域間の共通性な地理的な見方や考え方が身についているか見ます。

## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			重視する評		
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思
1	4	はじめに			
		第1部 さまざまな地図と地理的技能 第1章 地理情報と地図 第1節 地図の発達 1. 現代の地図 2. 世界観の変化と地図 第2節 地図の種類とその利用 1. 地球上の位置 2. 時差の求め方 技能1 時差の計算 3. 地球儀とさまざまな地図 第3節 地理情報の地図化 1. 地理情報とは何か 2. 一般図と主題図 3. いろいろな統計地図  技能2 統計地図の読み方と作り方 第2章 地図の活用と地域調査 第1節 地図の活用 1. 地形図の利用 2. 地形図のデジタル化 技能3 空中写真の利用 技能4 地形図の利用—地図記号	○ 地理学を学ぶ意味・地理学の構成等を学びます。 ○ リモートセンシング・GNSS・GIS等を学びます。 ○ プトレマイオスの世界地図・TOMAP等を学びます。 ○ 経度・緯度・本初子午線・地球の大きさ等を学びます。 ○ GMT・日付変更線・標準時・サマータイム等を学びます ○ 時差の計算を行います。 ○ 正角図法（メルカトル図法・等角航路等）等を学びます。 ○ 正方位図法（正距方位図法・大圏航路等）等を学びます。 ○ 正積図法（サンソン図法・メルワイデ図法等）等を学びます。 ○ 地理情報とは何かを学びます。 ○ 地理情報・一般図・主題図・地形図・統計地図等を学びます。 ○ 絶対分布図（ドットマップ・図形表現図等）を学びます。 ○ 相対分布図（階級区分図等）を学びます。 ○ カルトグラム・メッシュマップ等を学びます。 ○ 統計地図の作成を行います。 ■ 第1回定期考査	●	●
5	5	技能2 統計地図の読み方と作り方 第2章 地図の活用と地域調査 第1節 地図の活用 1. 地形図の利用 2. 地形図のデジタル化 技能3 空中写真の利用 技能4 地形図の利用—地図記号	○ 地形図・実測図・UTM図法・編集図等を学びます。 ○ 電子国土基本図・電子地形図25000等を学びます。 ○ 空中写真とは・空中写真の実体視等を学びます。 ○ 縮尺・三角点・水準点・図式・地図記号等について学びます。  	●	●
		第2節 身近な地域の調査 1. 調査テーマの設定 2. 課題の調査 3. 調査結果のまとめと発表 第II部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 世界の地形 1. 地形の成因 (1) 内的営力と外的営力 2. 地球規模の大地形 (1) 大地形の分布 (2) プレート運動と様々な境界 (3) 火山と地震の活動 (4) 造山帯と安定陸塊 3. 河川と海岸の小地形 (1) 小地形の形成と河川地形	○ 地域調査の手順等を学びます。 ○ 野外調査・予備調査・文献調査等を学びます。 ○ 聞き取り調査・観察調査・一次資料・補充調査等を学びます。 ○ ポスター・レポート・プレゼンテーション等を学びます。  ○ 地殻変動・内的営力・外的営力・風化・浸食等を学びます。 ○ 大地形・大陸・大洋・平野・山脈等を学びます。 ○ 大陸棚・深海平原・海嶺・海溝などを学びます。 ○ ウェゲナー・大陸移動説・プレートテクトニクス等を学びます。 ○ 狭まる境界・広がる境界・ずれる境界等を学びます。 ○ 海洋プレート・大陸プレート・褶曲山脈・島弧等を学びます。 ○ サンアンドレアス断層・北アナトリア断層等を学びます。 ○ マグマ・溶岩台地・カルデラ・火山灰・火砕流等を学びます。 ○ 地熱発電・ニュージーランド・アイスランド等を学びます。 ○ 地震・活断層・海溝型地震・津波・直下型地震等を学びます。 ○ 造山帯・造山運動・新期造山帯・古期造山帯等を学びます。 ○ アルプス＝ヒマラヤ造山帯・環太平洋造山帯等を学びます。 ○ 安定陸塊・卓状地・ケスタ・構造平野等を学びます。 ○ 楕状地・準平原・デーヴィス・侵食輪廻等を学びます。 ○ 沖積平野・小地形等を学びます。 ○ V字谷・谷底平野・扇状地・水無川・天井川等を学びます。 ○ 三角州・三日月湖・自然堤防・氾濫源・縄文海進等を学びます。 ○ 台地・丘陵・河岸段丘等を学びます。 ○ 自然を撮影した写真から、地形や土地利用を読み取ります。	●	●
6	6				

第2回定期考査

技能5 写真の見方—地形—

(2) 海岸に見られる小地形

4. そのほかの特徴的な地形

- (1) 氷河地形
- (2) 乾燥地形
- (3) 石灰岩の溶食地形

技能6 地形図の利用—等高線

技能7 地形図の利用—地形断面図

技能8 地形図の利用—土地利用

第2節 世界の気候

1. 気候の成り立ち

- (1) 気温と降水
- (2) 大気大循環と風
- (3) 陸水と海洋

2. 世界の気候区分

- (1) ケッペンの気候区分

技能9 気候区分の判定

技能10 雨温図・ハイサーグラフ

技能11 写真の見方—気候

- 砂浜海岸・干潟・砂嘴・砂州・陸繋島・潟湖等を学びます。
- 離水海岸・海岸平野・海岸段丘等を学びます。
- サンゴ礁・裾礁・堡礁・環礁・地球温暖化等を学びます。
- 沈水海岸・三角江・リアス海岸・フィヨルド等を学びます。
- 山岳氷河・大陸氷河・南極大陸・グリーンランド等を学びます。
- U字谷・カール・モレーン・氷河湖等を学びます。
- 氷期・間氷期・最終氷期等を学びます。
- 砂砂漠・岩石砂漠・礫砂漠・メサ・ビュート等を学びます。
- レス・偏西風・黄砂・ホワンツォー高原等を学びます。
- 外来河川・オアシス・内陸河川・ワジ等を学びます。
- カルスト地形・秋吉台・平尾台・鍾乳洞等を学びます。
- ドリーネ・ウバーレ・ポリエ・タワーカルスト等を学びます。
- 計曲線・主曲線・補助曲線・尾根・谷等を学びます。
- 地形断面図を作成します。
- 地形図で土地利用を判別します。

- 気象・気候・気候因子・気候要素等を学びます。
- 日較差・年較差・海洋性気候・大陸性気候等を学びます。
- 気温の逓減率・地形性降雨・湿潤・乾燥等を学びます。
- 熱帯収束帯・亜熱帯高圧帯・亜寒帯低圧帯等を学びます。
- 貿易風・偏西風・極偏東風・恒常風等を学びます。
- 季節風・ジェット気流・雨季・乾季等を学びます。
- 熱帯低気圧・台風・サイクロン・ハリケーン等を学びます。
- 陸水・氷河・地下水等を学びます。
- 被圧地下水・自由地下水・宙水等を学びます。
- 表層流・暖流・寒流・海洋の大循環・海岸砂浜等を学びます。
- 西岸気候・東岸気候等を学びます。
- ケッペン・植生・仮想大陸等を学びます。
- ケッペンの気候区分の気候記号・判定方法を学びます。
- 雨温図とハイサーグラフを作成して、読み方を学びます。
- 自然や人々の生活を撮影した写真から、気候を読み取ります。



年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

重視する評

学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思
2	8	(2) 熱帯の自然と生活 ① 熱帯雨林気候 ② 熱帯モンスーン気候 ③ サバナ気候 (3) 乾燥帯の自然と生活 ① 砂漠気候 ② ステップ気候 (4) 温帯の自然と生活 ① 地中海性気候 ② 温暖冬季少雨気候 ③ 温暖湿潤気候 ④ 西岸海洋性気候 (5) 亜寒帯・寒帯の自然と生活 ① 亜寒帯湿潤気候 ② 亜寒帯冬季少雨気候 ③ ツンドラ気候 ④ 氷雪気候 (6) 高地に見られる気候 3. 気候と植生・土壌 4. 変化する気候	<p>第3回定期考査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年中高温多雨・スコール・ラトソル・焼畑農業等を学びます。</li> <li>○ 年中高温・弱い乾季・モンスーン等を学びます。</li> <li>○ 雨季・乾季・サバナ・レグール・テラローシャ等を学びます。</li> <li>○ リャノ・カンポ・グランチャコ等を学びます。</li> <li>○ 年降水量250mm未満・オアシス・塩性土壌等を学びます。</li> <li>○ 年降水量250～700mm・ステップ・サヘル等を学びます。</li> <li>○ チェルノーゼム・プレーリー土・栗色土等を学びます。</li> <li>○ 夏高温乾燥・テラロッサ・硬葉樹・柑橘類等について学びます。</li> <li>○ 夏に多雨・冬に少雨・二期作・常緑広葉樹等について学びます。</li> <li>○ 四季の変化明瞭・梅雨前線・褐色森林土・混合林等を学びます。</li> <li>○ 夏冷涼で冬温暖・北大西洋海流・偏西風・ブナ等を学びます。</li> <li>○ 冬に積雪・タイガ・ポドゾル・春小麦・酪農等を学びます。</li> <li>○ 冬に少雨・シベリア高気圧・永久凍土・林業等を学びます。</li> <li>○ 地衣類・イヌイット・サーミ・トナカイの遊牧等を学びます。</li> <li>○ 南極大陸・グリーンランド・大陸氷河等を学びます。</li> <li>○ 高山気候・アンデス山脈・高山都市・スラム等を学びます。</li> <li>○ アルパカ・リャマ・ポンチョ・ヤク等を学びます。</li> <li>○ 土壌・成帯土壌・間帯土壌等を学びます。</li> <li>○ 温暖化・寒冷化・小氷期・異常気象等を学びます。</li> <li>○ エルニーニョ現象・ラニーニャ現象等を学びます。</li> <li>○ 都市気候・ヒートアイランド現象等を学びます。</li> </ul>	●	●
	9	第3節 日本の自然と人々の生活 1. 日本の地形 2. 日本の気候	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 弧状列島・火山帯・火山フロント・活断層等を学びます。</li> <li>○ フォッサマグナ・糸魚川静岡構造線・中央構造線等を学びます。</li> </ul>	●	●

10	<p>3. 開発に伴う災害と防災</p> <p>第4節 環境問題</p> <p>1. 世界の環境問題</p> <p>2. さまざまな環境問題</p> <p>(1) オゾン層破壊</p> <p>(2) 地球温暖化による影響</p> <p>(3) 森林破壊</p> <p>(4) 進行する砂漠化</p> <p>(5) 大気汚染と酸性雨</p> <p>3. 日本の環境問題</p> <p>第2章 資源と産業</p> <p>第1節 世界の農林水産業</p> <p>1. 農業の発達と分布</p> <p>2. 農業の地域区分</p> <p>(1) 各地に見られる伝統的農業</p> <p>① 遊牧</p> <p>② 焼畑農業</p> <p>③ 粗放的定住農業</p> <p>④ 集約的稲作農業</p> <p>⑤ 集約的畑作農業</p> <p>(2) 欧州で発達した商業的農業</p> <p>① 混合農業</p> <p>② 酪農</p> <p>③ 園芸農業</p> <p>④ 地中海式農業</p>	<p>○ ノーン坑家・梅雨前線・台風・やませ・冷害等を学びます。</p> <p>○ 土石流・土砂災害・局地的大雨・集中豪雨等を学びます。</p> <p>○ 都市型災害・液状化現象・地下調節池等を学びます。</p> <p>■ 第4回定期考査</p> <p>○ 大気汚染・公害・リサイクル・国連環境計画等を学びます。</p> <p>○ オゾン層・オゾンホール・紫外線の増加等を学びます。</p> <p>○ ウィーン条約・モントリオール議定書等を学びます。</p> <p>○ 温室効果ガス・化石燃料・二酸化炭素等を学びます。</p> <p>○ 海面上昇・モルディブ・京都議定書等を学びます。</p> <p>○ 生物多様性・マングローブ林・えびの養殖池等を学びます。</p> <p>○ アグロフォレストリー・地球サミット等を学びます。</p> <p>○ サヘル・過伐採・過耕作・過放牧・NGO等を学びます。</p> <p>○ 光化学スモッグ・越境大気汚染・PM2.5等を学びます。</p> <p>○ 長距離越境大気汚染防止条約等を学びます。</p> <p>○ 水俣病・第二水俣病・イタイイタイ病等を学びます。</p> <p>○ 四大公害病・公害対策基本法・環境基本法等を学びます。</p> <p>○ 環境庁・環境省・省エネルギー・リサイクル等を学びます。</p> <p>○ 自然条件・社会条件・灌漑・栽培限界等を学びます。</p> <p>○ 自給的農業・商業的農業・企業的農業・産業革命等を学びます。</p> <p>○ 土地生産性・労働生産性・ホイットルセイ等を学びます。</p> <p>○ 北極海沿岸のトナカイ・チベット高原のヤク等を学びます。</p> <p>○ 中央アジアのラクダや羊・モンゴル高原の馬等を学びます。</p> <p>○ キャッサバ・タロイモ・ヤムイモ・バナナ等を学びます。</p> <p>○ 東南アジアと東アジアの沖積平野・棚田等を学びます。</p> <p>○ 中国北東部のこうりゃん・デカン高原の綿花等を学びます。</p> <p>○ 輪作・休閑・二圃式農業・三圃式農業等を学びます。</p> <p>○ 穀物・根菜類・飼料作物・家畜飼育等を学びます。</p> <p>○ 冷涼な気候・やせた土地・移牧・冷凍船の発明等を学びます。</p> <p>○ 近郊農業・輸送園芸・スマートアグリ等を学びます。</p> <p>○ 柑橘類・オリーブ・コルクがし・羊や山羊の飼育等を学びます。</p> <p>○ アメリカ合衆国南西部・チリ中部等を学びます。</p>	● ●	● ●
11				
12				

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか 重視する評

学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思
3	1	世界の食糧問題	<p>○ 食料不足・飢餓・1日1人あたりカロリー摂取量等を学びます。</p> <p>○ 人口増加・紛争などによる難民・フェアトレード等を学びます。</p> <p>○ 食品ロス等を学びます。</p> <p>○ 食料自給率の低下・食育・地産地消・食の安全等を学びます。</p>	●	●
	2	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 地震・津波と防災</p> <p>1 地震・津波による災害</p>	<p>①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解します。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けます。</p> <p>②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現します。</p>	●	●
	3	2 地震・津波の被災地の取り組み	<p>③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養います。</p>	●	●



2 単位

この特徴をとらえ、どの

て下さい。  
て下さい。  
さい。  
て下さい。

習します。  
習します。  
習します。  
習します。

習します。  
習します。  
習します。  
習します。まざまな考

を見ます。そのため

とができるのかを見ま

のように活用するのが

どをとらえる」という

価値の観点	CHECK
技 知	○△×
● ●	
● ●	
● ●	
● ●	
● ●	
● ●	
● ●	

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーして下さい

道徳

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

道徳



評価の観点 CHECK

技知 ○△×

● ●

● ●

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所にコピーして下さい

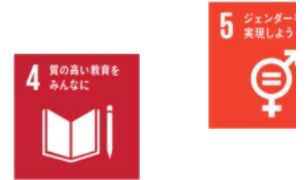
SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



●	●
●	●



評価の観点	CHECK
技 知	○△×

●	●
●	●
●	●
●	●

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所にコピーして下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所にコピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン









平等を





道德

